

## 人口減少下の国勢調査

9月下旬から、国勢調査の調査票が配布される。前回（2005年）の調査では、前々回（2000年）と比べた人口増加率が+0.7%にとどまり、過去最低を記録した。その後の人口動態によれば、2008年以降は人口の微減が続いている模様であり、5年ぶりの基礎調査として今回の結果が注目される。

その一方で、近年は国勢調査の精度に対して懸念の声が出ていた。オートロック・マンションの増加や、情報流出・詐欺への警戒などから、協力を得られないケースが増えたためだ。そこで今回は、郵送提出や全件封入、モデル地域（東京都）でのインターネット回答などが実施される予定で、調査精度の改善が期待されている。

少子高齢化や人口減少は、これまで幾度となく政策議論のお題目となってきたが、真の現実として捉えられていなかった感がある。来年2月に公表される予定の速報や10月の確報が、日本の現実を精確に映し出し、国民の実感や真剣な議論のきっかけになることを期待したい。

### 《目次》

- ・（年金制度）：経済成長率から国内株式の期待リターンを考える
- ・（リスク管理）：金融危機後のリスク管理の新潮流  
～カウンターパーティーリスクを考慮したデリバティブの価格付け～
- ・（年金運用）：分散投資の効果は享受できるのか？